

- ▶ 本県では、今後重要となる非住宅分野の木造化・木質化を進めるために不可欠な木造建築物の設計スキルを持った建築士が不足している。
- ▶ このため、木造設計に関する構造や防耐火等の識者による講習会を開催することで、木造建築物の設計スキルを持った核となる建築士を育成し、県内の非住宅分野における木造化・木質化の推進を図る。
- ▶ 令和元年度は、木造建築物の設計に関する基礎的な知識を習得する「みやざき木造塾2019」を講義形式で開催したが、令和2年度は、基礎的な講義に加え、中大規模施設（木造ビル・福祉施設）の試設計を追加し、より実践的な内容で「みやざき木造塾2020」を開催した。
- ▶ 令和3年度は、更に実践に近い内容でスキルアップを目指し、取り組むこととしている。

## □ 事業内容

### 1 みやざきSGを魅せる「空間・人」づくり事業（建築士育成事業）

- ・ 木造建築の設計に必要な構造、防耐火、遮音等、その他分野の識者を講師にした「みやざき木造塾」を開催し、建築士の育成を図る。

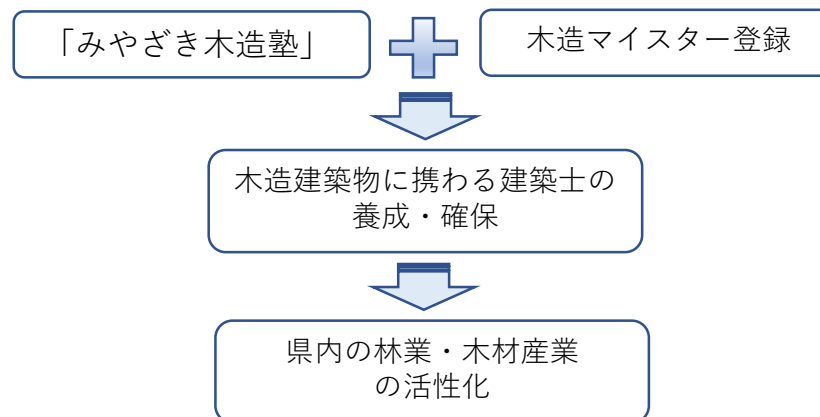
【事業費】 3,718千円（うち譲与税3,718千円）

【実績】 第1回 10月7日 1限:防耐火 2限:設計・計画  
参加者: 20名  
第2回 11月4日 1限:構造 2限:試設計のディスカッション  
参加者: 21名  
第3回 12月9日 1限:音環境 2限:試設計のディスカッション  
参加者: 17名  
第4回 3月19日 1限:温熱環境 2限:試設計の成果発表  
参加者: 18名  
※木造マイスター登録者: 15名(R3.3月末時点)



(みやざき木造塾2020の様子)

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・ 「みやざき木造塾」の修了者で一定の要件を満たすものを「木造マイスター」として登録することで、木造建築物に携わる建築士等の養成及び確保を図る。

## ◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	173,016千円
②私有林人工林面積（※1）	176,867ha
③人口（※2）	1,104,069人
④林業就業者数（※3）	3,151人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサスより、3：「H27年国勢調査」より